

県単河川改良二級河川能瀬川に係る埋蔵文化財発掘調査報告書

津幡町

# 谷内石山遺跡

2005

石川県教育委員会  
(財)石川県埋蔵文化財センター

やちいしやま  
谷内石山遺跡

2005

石川県教育委員会  
(財)石川県埋蔵文化財センター

## 例 言

- 1 本書は谷内石山遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 遺跡の所在地は河北郡津幡町谷内地内である。
- 3 調査原因は県単河川改良二級河川能瀬川であり、同事業を所管する石川県土木部河川課が、石川県教育委員会に発掘調査を依頼したものである。
- 4 調査は財団法人石川県埋蔵文化財センターが石川県教育委員会から委託を受けて、平成15年度から平成16年度にかけて実施した。業務内容は現地調査、出土品整理、報告書刊行である。
- 5 調査に係る費用は、石川県土木部河川課が負担した。
- 6 現地調査は平成15年度に実施した。期間・面積・担当課・担当者は下記のとおりである。  
期 間 平成15年10月2日～同年11月4日  
面 積 650m<sup>2</sup>  
担当課 調査部調査第3課  
担当者 岡本恭一（調査専門員）、澤辺利明（課主査）
- 7 出土品整理は平成16年度に実施し、企画部整理課が担当した。
- 8 報告書の刊行は平成16年度に実施し、調査部調査第3課岡本が執筆・編集した。
- 9 調査には下記の機関の協力を得た。  
津幡町教育委員会
- 10 調査に関する記録と出土品は石川県埋蔵文化財センターで保管している。
- 11 本書についての凡例は下記のとおりである。
  - (1) 方位は磁北である。
  - (2) 出土遺物番号は挿図と写真で対応する。
  - (3) 遺物実測図については須恵器を断面黒塗りとした。
  - (4) 遺構は略号で表記する。主なものSD（溝）・P（穴）である。

## 目 次

第1章 位置と環境 .....	1
第2章 遺構と遺物 .....	1
第1節 遺構 .....	1
第2節 遺物 .....	4

## 挿図目次

第1図 谷内石山遺跡の位置 .....	1	第4図 遺構実測図 .....	5
第2図 谷内石山遺跡と周辺の遺跡 .....	2	第5図 出土遺物実測図 .....	6
第3図 調査区位置図 .....	4		

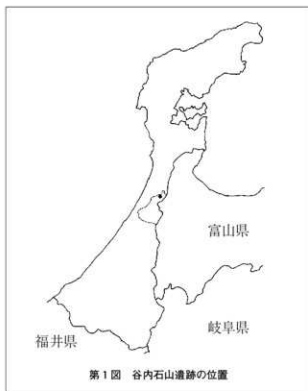
## 表 目 次

第1表 遺跡地名表 .....	3
第2表 出土遺物観察表 .....	7

## 第1章 位置と環境

谷内石山遺跡は河北郡津幡町字谷内地内の通称石山と呼ばれる丘陵の尾根に位置し、昭和54年<sup>1)</sup>と平成2年<sup>2)</sup>に津幡町教育委員会が発掘調査を行っており、弥生時代終末から古墳時代にかけての遺構が検出されている。今回の調査箇所は、その丘陵から延びる舌状大地の末端部、能瀬川の自然堤防上に在る。この丘陵は新第三紀鮮新世の砂岩大桑累層からなり、僅かに礫を含むことから石山の通称が生まれたと云われている。実際調査区の一部を重機で断ち割ったところ地山から礫が数点出土した。

津幡町はほぼ石川県の中央部、北加賀の北端部に位置し、東は砺波丘陵をおいて富山県と接し、西は県内最大湖沼であった河北潟、内灘砂丘をさきで日本海を望む。古代より能登・越中を結ぶ交通路の要所として栄えてきた地域である。砺波丘陵および南能登丘陵は低山、丘陵地形で、西方へむけて緩く傾斜し、標高30～50mの中段段丘から西方向の沖積平野に落ち込む。そして南北に2～3km程の平野をおいて河北潟に至る。低山、丘陵地形の割にはほぼ東西に流れる中小河川の津幡川・能瀬川を中心としてよく開析した谷平野が樹枝状に発達している<sup>3)</sup>。



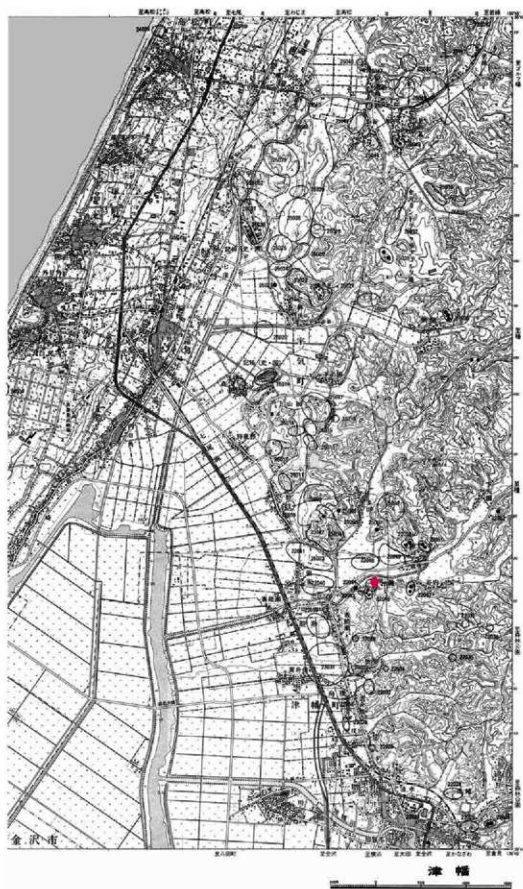
第1図 谷内石山遺跡の位置

## 第2章 遺構と遺物

### 第1節 遺 構

調査区は幅5m、長さ130mという細長いもので、便宜上東半部と西半部に分けて調査を行った。

調査区のうち東半部は後世の開墾等によるものか大幅な削平を受けており、遺構、遺物は希薄であった。西半部では幅20～50cm、深さ10cm前後の溝15条が並走して検出され、奈良時代から平安時代の土器が出土した。これらの溝は類例からみて畑作にともなう畝溝の可能性が高いと言えよう。



第2図 谷内石山遺跡と周辺の遺跡

遺跡番号	埋蔵品番号	名称	所在地	所在地名称	種別	構成	立地	時代	出土品	備考	文献	調査年度
22011	29	木田シタテ遺跡	津幡町木田	シタテ	新石器	土、瓦器	平地	奈良・平安	陶器(土器、瓦器)	1800-1900年頃(推定)		
22012	29	木田遺跡	津幡町木田	木田	新石器	土器	平地	奈良	土器			1714
22013	29	南中森遺跡	津幡町南中森	南中森	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器	打製石(石)	574	1729
22014	29	南中森南沢	津幡町南中森	南中森	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器	新石器(石)		1726
22015	29	内沢石倉遺跡	津幡町内沢	内沢	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器	2基よりなる。	1004	6,84
22016	29	新沢片倉遺跡	津幡町新沢	新沢	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器	1基よりなる。		9,64
22017	29	有庄遺跡	津幡町有庄	有庄	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器	1基よりなる。	1002	1714
22018	29	浅瀬川遺跡	津幡町浅瀬川	浅瀬川	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		1004, 1047	6,81
22019	29	浅瀬川遺跡	津幡町浅瀬川	浅瀬川	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		1077	6,81
22020	29	露ヶ丘遺跡	津幡町上露ヶ丘	露ヶ丘	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		31, 5479	
22021	29	新沢石倉遺跡	津幡町新沢	新沢	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		1012	
22022	29	新沢石倉遺跡	津幡町新沢	新沢	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		1012	
22023	29	新沢石倉遺跡	津幡町新沢	新沢	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		1012	
22024	29	新沢石倉遺跡	津幡町新沢	新沢	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		1012	
22025	29	新沢石倉遺跡	津幡町新沢	新沢	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		1012	
22026	29	新沢石倉遺跡	津幡町新沢	新沢	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		1012	
22027	29	新沢石倉遺跡	津幡町新沢	新沢	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		1012	
22028	29	新沢石倉遺跡	津幡町新沢	新沢	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		1012	
22029	29	新沢石倉遺跡	津幡町新沢	新沢	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		1012	
22030	29	新沢石倉遺跡	津幡町新沢	新沢	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		1012	
22031	29	新沢石倉遺跡	津幡町新沢	新沢	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		1012	
22032	29	新沢石倉遺跡	津幡町新沢	新沢	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		1012	
22033	29	新沢石倉遺跡	津幡町新沢	新沢	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		1012	
22034	29	新沢石倉遺跡	津幡町新沢	新沢	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		1012	
22035	29	新沢石倉遺跡	津幡町新沢	新沢	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		1012	
22036	29	新沢石倉遺跡	津幡町新沢	新沢	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		1012	
22037	29	新沢石倉遺跡	津幡町新沢	新沢	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		1012	
22038	29	新沢石倉遺跡	津幡町新沢	新沢	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		1012	
22039	29	新沢石倉遺跡	津幡町新沢	新沢	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		1012	
22040	29	新沢石倉遺跡	津幡町新沢	新沢	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		1012	
22041	29	新沢石倉遺跡	津幡町新沢	新沢	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		1012	
22042	29	新沢石倉遺跡	津幡町新沢	新沢	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		1012	
22043	29	新沢石倉遺跡	津幡町新沢	新沢	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		1012	
22044	29	新沢石倉遺跡	津幡町新沢	新沢	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		1012	
22045	1	石川石山1号遺跡	津幡町石川	石川	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器		812, 1408, 1647	1716
22045	2	石川石山2号遺跡	津幡町石川	石川	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器			1716
22045	3	石川石山3号遺跡	津幡町石川	石川	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器			1716
22045	4	石川石山4号遺跡	津幡町石川	石川	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器			1716
22045	5	石川石山5号遺跡	津幡町石川	石川	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器			1716
22045	6	石川石山6号遺跡	津幡町石川	石川	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器			1716
22045	7	石川石山7号遺跡	津幡町石川	石川	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器			1716
22045	8	石川石山8号遺跡	津幡町石川	石川	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器			1716
22045	9	石川石山9号遺跡	津幡町石川	石川	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器			1716
22045	10	石川石山10号遺跡	津幡町石川	石川	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器			1716
22045	11	石川石山11号遺跡	津幡町石川	石川	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器			1716
22045	12	石川石山12号遺跡	津幡町石川	石川	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器			1716
22045	13	石川石山13号遺跡	津幡町石川	石川	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器			1716
22045	14	石川石山14号遺跡	津幡町石川	石川	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器			1716
22045	15	石川石山15号遺跡	津幡町石川	石川	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器			1716
22045	16	石川石山16号遺跡	津幡町石川	石川	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器			1716
22045	17	石川石山17号遺跡	津幡町石川	石川	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器			1716
22045	18	石川石山18号遺跡	津幡町石川	石川	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器			1716
22045	19	石川石山19号遺跡	津幡町石川	石川	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器			1716
22045	20	石川石山20号遺跡	津幡町石川	石川	新石器	瓦器	平地	奈良	瓦器			1716

第1表 遺跡地名表

## 第2節 遺 物

遺物としては約330片の須恵器と土師器があるが土師器の細片が8割近くを占め、形の分かるものは20点ほどである。包含層や遺構からは古墳時代の須恵器も出土しているが、大半は平安時代のものである。

1は6世紀末～7世紀初頭の須恵器杯身である。11は古墳時代の壺の口縁である。2は8世紀第4四半期の杯蓋である。3は8世紀末の杯身である。4～20は平安時代か器種は判るか時期不詳のものである。

### 注

- 1 西野秀和「津幡町谷内石山遺跡」津幡町教育委員会 1980年
- 2 竹田 学「津幡町谷内石山遺跡Ⅱ」津幡町教育委員会 1990年
- 3 西野秀和「Ⅰ遺跡の位置と環境」『津幡町谷内石山遺跡』津幡町教育委員会 1980年

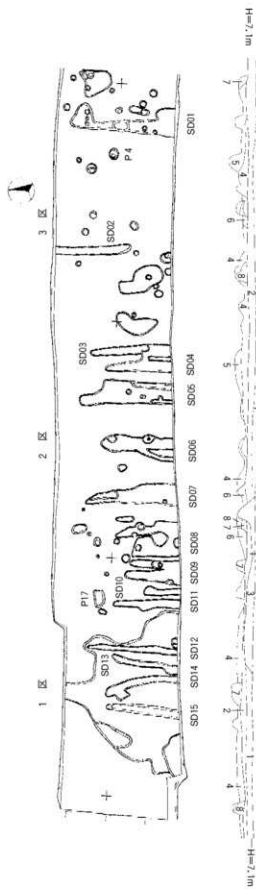
### 引用文献

石川県教育委員会「石川県遺跡地図」1992年



第3図 調査区位置図 (S=1/2,500)



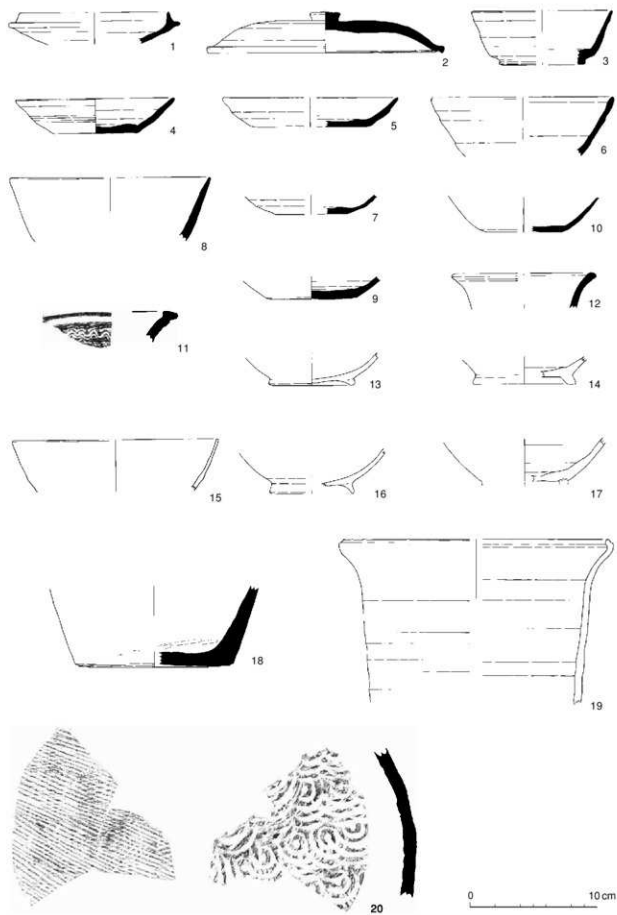


遺構集積地平面図 (S=1/160)



1. 粘土
2. 黄褐色砂質土
3. 黄褐色砂質土
4. 黄褐色粘質土
5. 黄褐色粘質土
6. 灰褐色粘質土
7. 灰褐色粘質土
8. 黄褐色粘質土

第4図 遺構集積地 (S=1/160)



第5圖 出土遺物実測図 (S=1/3)

第2表 出土遺物観察表

神岡番号	美濃番号	出土地区	種別	器種	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	色調	胎土	成成	調整	備考
1	1	1区 SD-09	須恵器	杯身	12.0		2.55	内一灰白、外一灰白	粗砂を少量含む	良	内一ヨコナテ、外一ヨコナテ	
2	4	1区 急倉榑	須恵器	杯蓋	18.5		3.3	内一灰、外一灰	粗砂を含む	良	内一ヨコナテ、外一ハタケ又ハ辰ヨコナテ	
3	6	2区 榑出面	須恵器	杯身	11.0		4.35	内一灰、外一灰	粗砂を多く含む	良	内一ヨコナテ、外一ヨコナテ	
4	5	1区 急倉榑	須恵器	杯身	12.5		2.75	内一灰黄、外一灰黄	砂少量含む	良	内一ヨコナテ、外一ヨコナテ	底面に黒痕有るが、詳細不明
5	15	1区 SD-09	須恵器	杯身	13.8		2.35	内一灰白、外一灰白	粗砂を少量含む	良	内一ヨコナテ、外一ヨコナテ	
6	16	1区 SD-09	須恵器	杯身	14.3		4.75	内一灰白、外一灰白	粗砂を少量含む	良	内一ヨコナテ、外一ヨコナテ	
7	19	1区 急倉榑	須恵器	杯身	5.8		1.6	内一灰白、外一灰白	礫を極少量含む	良	内一ヨコナテ、外一ヨコナテ	
8	14	1区 SD-15	須恵器	杯身	15.8		5.1	内一灰、外一灰	粗砂を多量含む	良	内一ヨコナテ、外一ヨコナテ	
9	17	1区 SD-09	須恵器	杯身	7.2		1.8	内一灰白、外一灰白	粗砂を少量含む	良	内一ヨコナテ、外一ヨコナテ	
10	20	1区 SD-03	須恵器	杯身	7.0		2.8	内一灰、外一灰	粗砂を多量含む	良	内一ヨコナテ、外一ヨコナテ	
11	10	1～3区 急倉榑	須恵器	壺				内一灰、外一灰	粗砂を含む	良	内一ヨコナテ、外一ヨコナテ	
12	18	1区 SD-09	須恵器	壺	11.1		2.8	内一灰、外一灰	粗砂を少量含む	良	内一ヨコナテ、外一ヨコナテ	
13	9	3区 急倉榑	土師器	碗	6.1		2.6	内一灰白、外一黄橙	粗砂を少量含む	良		磨減著しく調整不明
14	11	2区 急倉榑	土師器	碗	8.0		2.3	内一灰黄橙、外一黄橙	粗砂を少量含む	良		磨減著しく調整不明
15	12	2区 急倉榑	土師器	碗	16.3		4.15	内一灰白、外一灰白	礫を極少量含む	良		磨減著しく調整不明
16	8	3区 急倉榑	土師器	碗	6.4		3.65	内一灰黄橙、外一灰黄橙	粗砂を少量含む	良		磨減著しく調整不明
17	3	1区 急倉榑	土師器	碗	6.8		3.4	内一灰黄、外一灰黄	粗砂を少量含む	良		磨減著しく調整不明
18	7	3区 ビット4	須恵器	壺	12.0		6.5	内一灰白、外一灰	粗砂を多量含む	良	内一ヨコナテ、外一ヨコナテ	
19	2	3区 ビット17	土師器	甕	20.8		13.25	内一黄橙、外一黄橙	粗砂、粗砂を多量含む	良		磨減著しく調整不明
20	13	1区 SD-09	須恵器	甕				内一灰、外一灰	粗砂、礫を含む	良	内一タケキ、外一タケキ	



調査区遠影（南西より）



調査区遠影（北東より）



調査前状況



西調査区表土除去作業状況



西調査区遺構検出作業状況



西調査区検出状況（西より）



西調査区遺構検出状況



遺構掘削作業状況



SD 03・04・05



SD 06 · 07



SD 08 · 09 · 10 · 11



SD 12 · 13 · 14 · 15



溝堆積状況

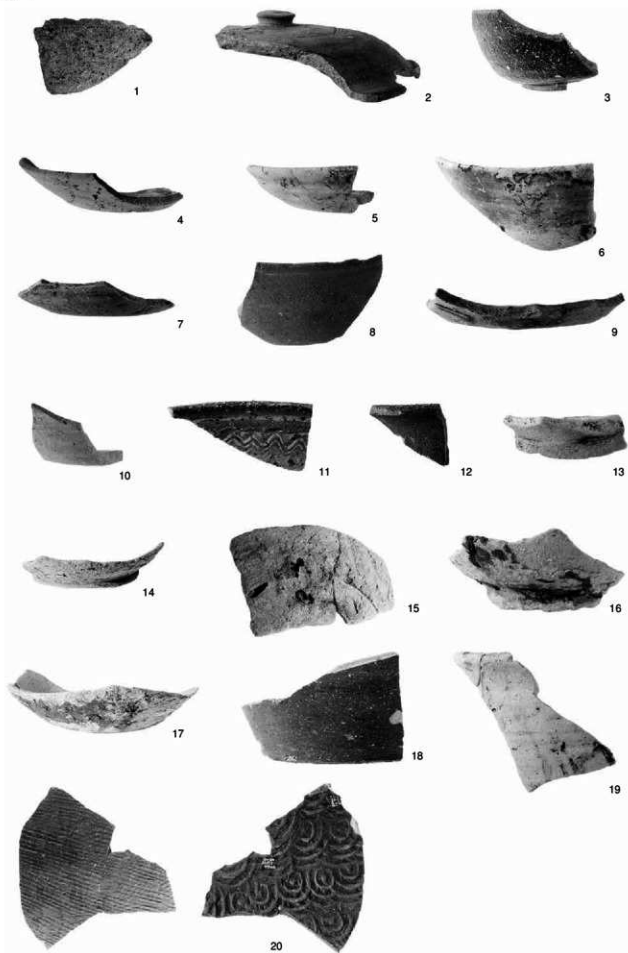


西調査区完掘状況（西より）



東調査区遺構検出状況（東より）





## 報告書抄録

ふりがな	つばたまちやちいしやまいせき							
書名	津幡町谷内石山遺跡							
副書名	県単河川改良二級河川能瀬川に係る埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	岡本恭一							
編集機関	財団法人石川県埋蔵文化財センター							
所在地	〒920-1336 石川県金沢市中戸町18番地1							
発行機関	石川県教育委員会・財団法人石川県埋蔵文化財センター							
発行年月日	2005年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
谷内石山遺跡	石川県津幡町 谷内地内	17361	22046	36度 40分 30秒	136度 45分 15秒	2003,1002 ～ 2003,1104	650㎡	河川改良事業
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
谷内石山遺跡		古墳時代		須恵器				
	生産域	古代	溝	須恵器・土師器				

### 津幡町 谷内石山遺跡

発行日 平成17(2005)年3月31日  
 発行者 石川県教育委員会  
 〒920-8575 石川県金沢市桜月1丁目1番地  
 電話 076-225-1842 (文化財課)  
 財団法人石川県埋蔵文化財センター  
 〒920-1336 石川県金沢市中戸町18番地1  
 電話 076-229-4477  
 E-mail address mail@ishikawa-maibun.or.jp

印刷 福島印刷株式会社